

平成 26 年 6 月 13 日

各 位

会社名 インスペック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 菅原 雅史
 (コード番号：6656 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理部長 富岡 喜榮子
 T E L 0187-54-1888 (代表)

平成 26 年 4 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年 6 月 14 日に公表いたしました平成 26 年 4 月期通期業績予想と本日公表いたしました実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 4 月期 通期業績予想数値と実績値との差異 (平成 25 年 5 月 1 日～平成 26 年 4 月 30 日)
 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,000	30	30	30	18 円 51 銭
実績値 (B)	1,000	54	30	29	17 円 65 銭
増減額 (B - A)	0	24	0	△1	—
増減率 (%)	0.0	80.7	1.3	△2.4	—
(ご参考) 前期実績 【平成 25 年 4 月期】	469	△275	△278	△390	△360 円 91 銭

(注) 当社は、平成 25 年 11 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株を 100 株に分割しております。

1 株当たり当期純利益については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、主力製品である基板 A O I、基板 A V I 並びにインライン検査装置とも、ほぼ期初の計画通りに推移し、前事業年度の 2 倍強の実績となりました。

利益面につきましては、製品原価の低減や生産の効率化により売上総利益率を改善したほか、国内の拠点を集約・移転するなど経営の合理化に努めたことなど、徹底した各種経費の見直し・削減に努め、厳しい状況を乗り越えるべく諸施策を講じた結果、営業利益は計画を大きく上回り、経常利益及び当期利益については、平成 25 年 10 月及び平成 26 年 4 月に実施した第三者割当増資の関連費用が営業外費用として発生しましたが、概ね計画に近い実績を計上することが出来ました。

以上